

自分をバージョンアップ ～3学期終業式 学校長式辞から～

4月にスタートした平成28年度が今日で終わります。この1年間は長いと感じましたか、それとも短いと感じましたか。

もうすぐまた4月がやってきますが、1年生のみんなにとって昨年の高1の4月と今度の高2の4月とは違うはずです。2年生のみんなにとっては、昨年の高2の4月と今度の高3としての4月では感じ方が違うはずです。

4月から3月まで12カ月が一回りすると、ちょうどらせん階段を上るように、前回の4月よりも高いところに自分を持って上がるというようなイメージで4月を迎えると、高校3年間で、らせん階段を3回まわります。そのあいだに1段階ずつ自分をレベルアップ、バージョンアップしていくようなつもりで3年間を送ってほしいと思います。

とは言っても、12カ月の間にはしんどいと感じることもあるでしょう。そんな時に、「自分には無理だ」とか、「自分は運が悪い」と後ろ向きに考えてしまいがちです。でも、ちょっと大変なとき、しんどいと思うときこそ自分をバージョンアップさせるチャンスなのかもしれません。少し考え方や見方を変えることでピンチを乗り越えることができ、一気にそれがチャンスに変わるということがあります。

「ピンチはチャンス」という言葉がありますが、実は誰でも必ずチャンスに出会っているけど、それをチャンスにできなかっただけだという人があります。ピンチがチャンスに変わるまで粘り強くしんぼうできるかどうかにかかっていると思います。自分をバージョンアップさせることを常に意識してがんばれば、ピンチをチャンスに変えるきっかけが必ず見つかります。

自分がうまくバージョンアップできているかを判断するのは、他人ではなく自分自身です。自分自身が一番よくわかっているはずです。これから大人になって社会に出ていくためには、自分のバージョンアップは、それぞれが自分の責任で行わなければなりません。

4月から始まる平成29年度の新学期にもう一回り自分自身をバージョンアップさせましょう。自分をバージョンアップしようがんばる生徒が多ければ、学校自体もバージョンアップします。

4月から、みなさん一人一人が自分自身をバージョンアップして、その結果氷上西高校もバージョンアップするように、有意義な春休みを送ってください。

(校長 高橋信之)